

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」


 西合志第一小学校
 学校だより 第65号
 文責 校長 西村羊治

令和7年1月20日

子ども達の元気に元気を！

1月も中旬となりまだ寒い日が続いています。私はアパートで1人住まいですが、朝起きてごはんをチン（電子レンジ）して味噌汁と納豆はなるべく毎朝食するようにしています。これで朝のエネルギーを蓄えます。そして、食器洗いなどいろいろ



意欲的で元気な2年生

な身支度をして学校に向かいます。学校に到着しメールの確認などの後、子ども達の登校を見届けて校長室に向かいます。それから1時間目が始まりますが、時間はまちまちでしかも少しではありますが、毎日全クラスの授業を見せてもらいます。子ども達は元気です。集中しています。笑顔です。大きな声で発表しています。先生の目を見て説明を聞

いています。お互い交流して意見交換しています。タブレットを上手に操っています。笑顔や集中している元気な子ども達を見ると、なぜだか元気になります。子どもが元気で過ごす（怒られることもあります）西合志第一小学校。「子ども達の元気に元気を」もらっています。子ども達の皆さん、いつもありがとうございます！



元気な1年生



意欲的で元気な3年生

豊かな心を育む

15日（水）の5時間目、3年生の道徳の授業を菊陽中部小学校の林先生に実施していただきました。指導力がすばらしい先生なので、現在「指導力向上アドバイザー」という



役割演技で主体的・対話的に

肩書きで、教諭を指導する立場で勤務されておられます。授業は、「まどガラスと魚」という教材で内容項目は「正直、誠実」でした。わざとではないけど遊んでいるときに窓ガラスをボールでわってしまい、それを正直に謝りたい自分と隠そうとする自分の心の葛藤を主体的に考えていく授業でした。流れるような授業展開で、子ども達も5時間目



心の変容がわかりやすい横書きの板書

でありながらも、とても集中し意欲的で発表もよくしていました。事後研修会においても論理的で勉強になる説明がたくさんあり、本校職員の授業力向上心に火を着けていただきました。林先生、お忙しい中に本当にありがとうございました。

あれから30年

1月17日5時46分NHKで阪神淡路大震災追悼の黙祷が実施されている映像が流れました。30年前、私は20代で中学校に勤務していました。玉名のアパートから宇土の中学校に通っていたのですが、1時間以上の通勤中に地震のニュースをずーっと聞いていました。「死者数100人」、しばらくして「死者数600人」、またしばらくして「死者数1000人」と、どんどん死者数が増えていく報道に「えっ、本当?」と自分の耳を疑ったことを思い出します。結局6,434人もの命を奪った未曾有の大震災でした。高速道路が根こそぎ倒れている映像も衝撃的でした。合志市でも先日震度4の地震がありました。南海トラフ地震も30年以内に起こる確率が高くなっています。常に危機意識を持ち、災害に備えていく必要があると思います。